

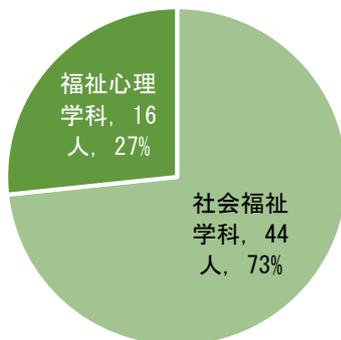
平成 27 年 9 月に本学通信教育部を卒業された方を対象にアンケート調査を実施しました。今後の通信教育部での学習にご活用いただけたらと思います。

●アンケートの概要

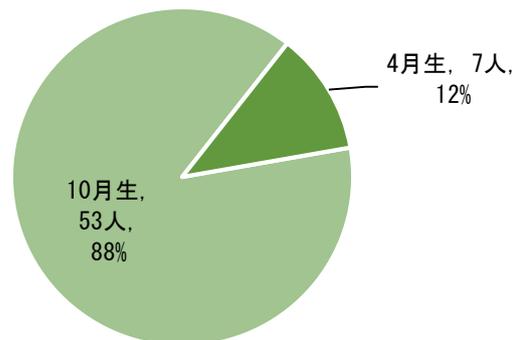
アンケートの回収状況は、社会福祉学科が 44 名、福祉心理学科が 16 名です（卒業生 88 名中 60 名、回収率 68.2%）。本アンケートにご協力いただいた方の入学月は 4 月入学が 7 名、10 月入学が 53 名であり、入学コースは 1 年次編入が 12 名、2 年次編入が 2 名、3 年次編入が 46 名でした。

1 まずあなた自身のことをお聞きします ※あてはまる項目に○をつけ必要事項をご記入ください。

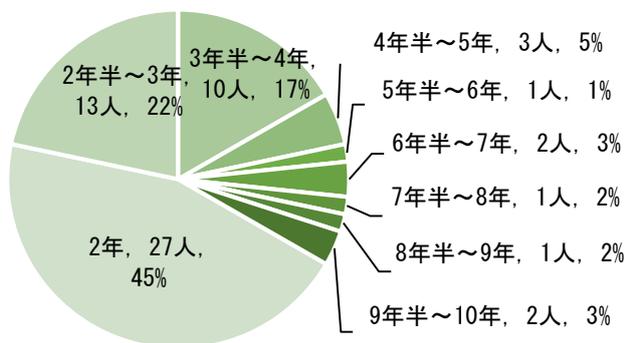
1) 卒業学科



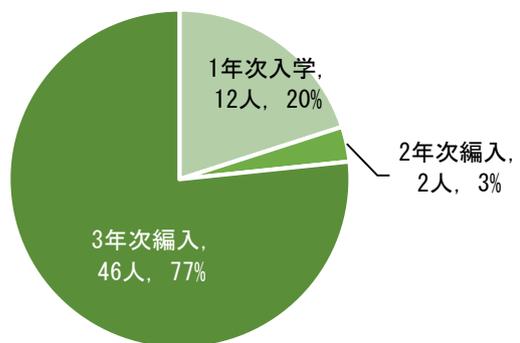
2) 入学月



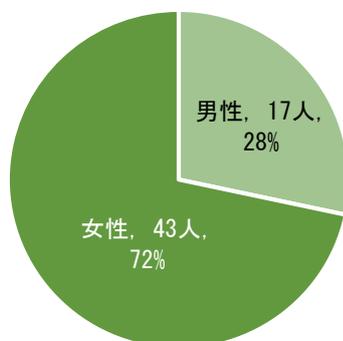
3) 卒業までの在学年数



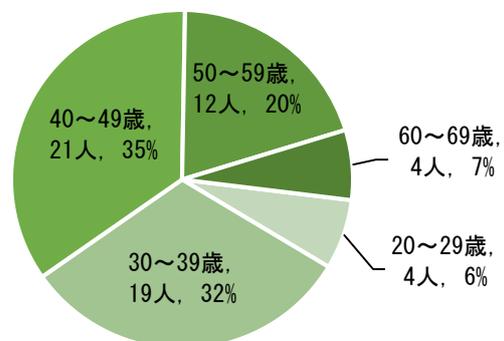
4) 入学コース



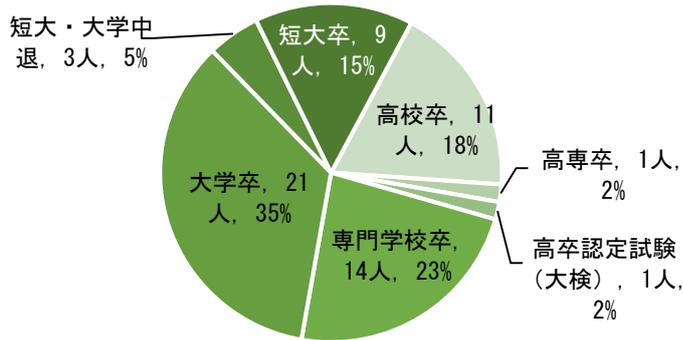
5) 性別



6) 年齢

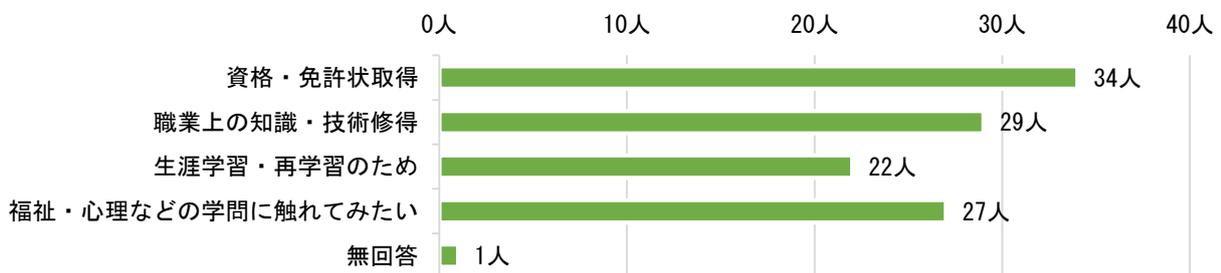


7) 入学時の最終学歴

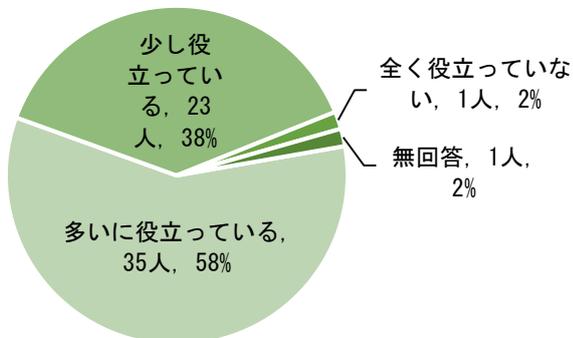


2 本学通信教育部に入学された目的・理由と成果についてお聞きします。

1) 入学時の目的・理由について達成できたもの(あてはまるものすべて)をお答えください。



2) 通信教育部での学習は、職場や家庭などの日常生活で役立っていますか。



3) 学習が、日常生活に役立った理由を教えてください。

～ 職場や地域で役立っている ～

- ・ケアマネとして介護対策支援業務に携わっていますが、利用者、家族、すべての人への人間理解にとっても役立っている。対象者の側に立ち、考えること、その人を取り巻く成育歴、現在の社会環境にも目を向ける視点を持つことができた。
- ・10年前に福祉系の資格を取った時から法律、制度が変わったので勉強になりました。
- ・これまで、精神科看護師、相談員をしていて、精神保健福祉などの法的な面などでは経験から、また PSW などから確認などをしながら対応していたが、根拠を理解しながら自信を持って対応できる気がします。
- ・職場や家庭の人間関係においても自分の考えを押し付けるのではなく、相手を理解しようと努め

る気持ちが強くなった。その結果、スムーズに関係を構築できていると思う。

- ・介護職に携わっているが、高齢者福祉についてより深い理解をもって業務に当たることができるようになった。

- ・地域福祉においても社会資源について理解を深められることやそれが仕事上においても大変役立っている。

- ・仕事を行う上での根拠となった。違う視点から仕事をみることができ、仕事の幅が広がったように思える。

- ・施設相談員として介護保険以外にも社会保障が地域との連携が常に必要であるため、学習している内容がリアルタイムで仕事に役立った。

- ・大学のときには座学で理解度が低かったが、通信で学習してからは普段の実践で自分が何をやっているのか知ることができた。社会福祉士とは何なのかを伝える力を持つことができた。

- ・特別支援学校で勤務しているので「障害の理解」「知的障害者福祉論」等の科目はとても参考になりました。

- ・特養に勤めていて利用者の方に対する接し方を自信をもって対応できる。

- ・福祉系の業界に勤めていますので、知識の向上には役立ちました。また、交流の中で情報交換や他業種の理解も深まりました。

- ・目の前のことだけでなく、すべてが連続していることを具体的に意識しながら支援ができるようになりました。

- ・利用者さんの視点で考えることができるようになりました。特に、総論、技術論・B、原論の根本的な「福祉」を学ぶことにより、自分の考えに幅が広がりました。

- ・法律の改正などを学ぶにあたり、仕事でも役立ったし、また自分の生活においても関わる事項がたくさんあったので、世の中の動きについても知識を深めることができた

～ 日常生活で役立っている ～

- ・両親の体調に合わせた医療制度、保険制度について学ぶことができた。制度について家族に説明することもできた。自分自身の関係する医療制度についても詳しく知ることができ、実際に病院のクラークさんが見逃したことについて意見を言うことができた。

- ・現在は原発で避難してきている孫たちを世話するのに、孫たちへの接し方についても落ち着いて接することができる。

～ 自身の見方・成長につながっている ～

- ・価値観や概念がかわった、広がった。

- ・視点や思考が変わったので、行動も変容していると思う。

- ・考えていることの学問的裏付けがあるという自信が持てるようになり、迷うことが少なくなった。

- ・仕事中に自分の感情が大きく振れそうになった時、客観的に自分や周りを見ることができるようになった。

- ・テキストに書いてあることは一般論。現実では、まったく役に立たない。例えば、対人関係におけるコミュニケーションスキルなどは、実際の経験を積み重ねて磨いていくしかない。処置の方法もその人に合わせて変えていかなければならないし、何よりも重要なのは経験値だと感じた。この時はこうする。この人の場合はこちらでいく。瞬時の判断が必要となる時には人生経験が何よりも必要。

- ・自分の住む地域の福祉の状況についても関心を持つことができた。多くの疑問や課題というものを知り得たし、一層探究心を持つことができた。
- ・自分の社会福祉への意欲・向上のために役立ち、これまで高齢者分野のみの知識（曖昧でしたが）しかなかったが、多くのことを学ぶことができました。また、父母が現在障害者就労継続支援事業所にてボランティア活動をしており、様々な面で相談・知識の提供をする上でも役立っています。
- ・社会福祉制度の歴史が学べたことによって今の制度の趣旨がよく理解できるようになった。
- ・心の構造や社会心理学の知見は学ぶところが多く、大きな学びとなりました。
- ・人、社会への理解などで自分自身がどういう傾向でものを見ているか、考えているのか、よくわかったように思います。生きづらい想いを抱えている人の気持ちに寄り添えるようになったと感じます。
- ・人間関係の構築や考え方の違いについて、心理学の基礎を学んだおかげで、冷静に客観的に物事を考え、感じようという思考に変えることができている。常に自己覚知し、前向きに成長していこうと考えていくようになった。
- ・忍耐力がついた。TODO リストを作り、計画的に物事を進めていく力がついた。
- ・卒業という目標を達成できたことであらゆることに自信がついた。
- ・対人関係において、今までは自分の枠組みに当てはめて人を見ていた。そのため、ゆがみや思い込みがその人の印象を大きく変えていくことを学び、自分の癖や物の見方など、自分と向き合う機会が多くなった。また、人に対し学ぶ前より行動や表情などを消し、自分自身が受け入れていけるようになったと感じる。
- ・入学以前は物事を考えるときの幅が狭かった。物事を多角的に捉える事ができるようになったと思われる。また、座学と実習を通して障害を抱えている人の理解や施設の様子、支援を行う職員についても学ぶことができ、とても役立った。
- ・福祉における自立支援とはなにかということを決えず考えるようになる機会となった。そして、その疑問は学習を進めて埋められるものだけではなく、今後も常に考えていかなければいけないものになりました。
- ・物事に対して集中して取り組む姿勢。

4) 通信教育部で得た知識・学んだことを今後どのようにいかしたいとお考えですか。

～ 職場（利用者）に活かしたい ～

- ・より相手（患者、利用者）にとって不利益とならないよう、日々学び努力していきたい。
- ・現在、多世代交流の場で働いていますが、日々の生活の中で生じる課題・問題を一人で抱え込むことなく、生活全般の問題等相談の窓口として他機関と連携しながら、学習で得たことを活かしていきたいと思う。地域の生活に根差した、また地域に開かれた生活者にとっての最初の気軽な窓口でありたいと思う。
- ・職場内で得た知識でもっと利用者さんのことを深くまで考え、関わりをもてるようにしていく。他の業種・職種や機関とさらに連携していく。
- ・精神科看護師として地域の精神医療に関わり、資格に関わりの中で発揮したい。
- ・利用者や利用者家族とのコミュニケーションや面談。
- ・社会福祉士試験後は施設相談員の仕事以外にも個人的に社会保障制度や医療制度利用を紹介する

ために活動（インターネットや SNS を利用）していく予定。

- ・制度の矛盾や現状と合わない理不尽な制度を変えていけるよう上にものが言える立場になりたい。
- ・介護支援専門員の仕事をしていた、知識の不足さや考え方の未熟さを実感したため、通信で学ぶこととなりました。まずは家族になにかあった時に対応できる力を身につけて行きたいと思います。業務上では確実な根拠のある知識に変えて、何を聞かれても答えられ、また、提案ができるようでありたいと思います。
- ・現在の職場の業務に活かすとともに、将来的に大学院への進学を考えている。

～ 転職・ステップアップに活かしたい ～

- ・もちろん、相談援助の活動の場での仕事に就くことを考えています。
- ・今後はステップアップして、転職したいのが一番です。自分の夢に向かい活かしていきたいです。
- ・児童福祉分野に挑戦したい。
- ・自分のやってみたかった仕事に転職し、学んだ知識を生かして今までの経験と融合させ、これまで以上の福祉職としての実力をつけて、仕事に向かっていく。
- ・障害福祉分野に転職予定。
- ・相談援助者として声なき声を拾い、支援していくことに役立てたい。病院でのケースワーカーや社協でのコミュニティソーシャルワーカーとして仕事をしてみたい。
- ・転職の時期を考えていて、相談員の仕事に就きたいと考えている。

～ 地域・社会に活かしたい ～

- ・より良い社会の構築のために活かしていきたいです。
- ・高齢化社会になり、地域の人たちとの交流を大事にし、住みなれた地域で元気に過ごせるようなボランティア等をして絆を大事にしていきたいです。
- ・仕事上、また生活していく上で社会との関わり方等に生かそうと考えています。
- ・障害児者が障害と感ずることのないような社会の実現です。社会の障壁を取り除いていきたい。
- ・相談援助技術等を学び、社会福祉士の資格取得に努め、できれば地域福祉に携わっていきたい。
- ・多くの障害を持った方々が地域で「つながりをもって」生活できるよう働いていきたい。
- ・介護の仕事についたことから、福祉というものをより深く学びたいとはじめたのだったが、学びを通して今後の自分像を考えるようになった。様々な福祉の分野において、自分の住む地域に貢献していける福祉の人材として、活躍できる場を目指していきたいと考えている。

～ 家族に活かしたい ～

- ・家族のために社会制度の知識を活かしていけると思う。子ども達に対して年金のことについてアドバイスできると思う。
- ・息子が障害を抱えており、今までの経験が私に多くのものや人の出会いをもたらしてくれた。学んだことを活かしながら、社会福祉の援助支援を必要とせざる得ない人、または言えない人たちの支え合えるような仲間作りをしていきたい。

～ 自身の成長に活かしたい（学び続ける・大学院など） ～

- ・さらに心理学の自己学習を進め、SNS やネットなどでも情報を得て、知識を深めたい。経済的理由から独学を選択するが、例えば身近な人や困っている人の援助、勉強会やセミナーがあれば参加したい。いずれは相談援助に関連する仕事をしたい。

・「人間」を理解する（自分、他人を）ことで一面的な価値観に束縛されることがなくなって、生きやすさが増してくる実感を得ている。今後も学びを続け、並行してボランティア活動を通じて人間理解を深めたい

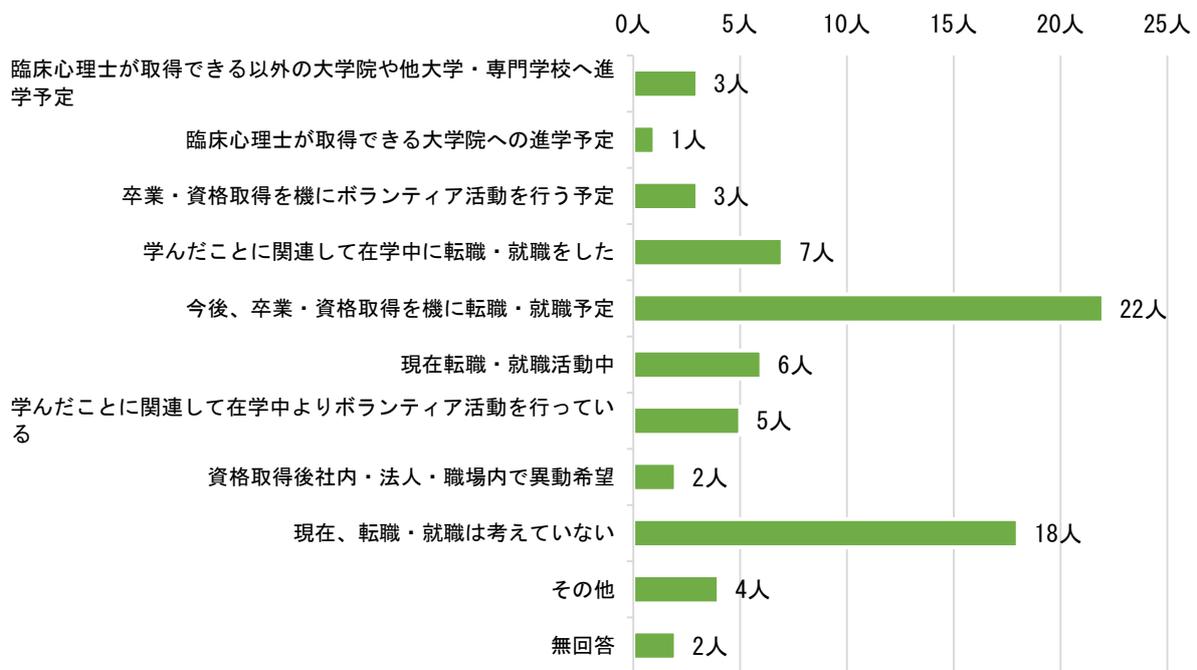
- ・わからないことについて調べようとする探究心ができたと思う
- ・学びを継続すること。社会福祉士の資格を取ること
- ・学んだことが多いと同時に、学びきれなかった分野もあり、卒業後も学びを深めて、幅広く知識向上に努めたいと思います。
- ・仕事やプライベートにおいても知識を活かそうと思います。
- ・新たに知ることができた自分の特徴を活かし、他の人と関わる時に役立てたいと思う。
- ・大学院に進学予定。
- ・福祉心理学科に所属しましたが、職場が社会福祉法人でしたので、結局社会福祉関連の科目を多く履修し、取得しました。心理学や福祉関連問わず幅広く科目を学習したことで、視点が広がり、公私共々様々な事象に対して理論的に他者に伝える、文章化する訓練ができましたので、国家試験受験と併せさらにスキルアップを目指したいと考えています。

～ 活かすのが難しい ～

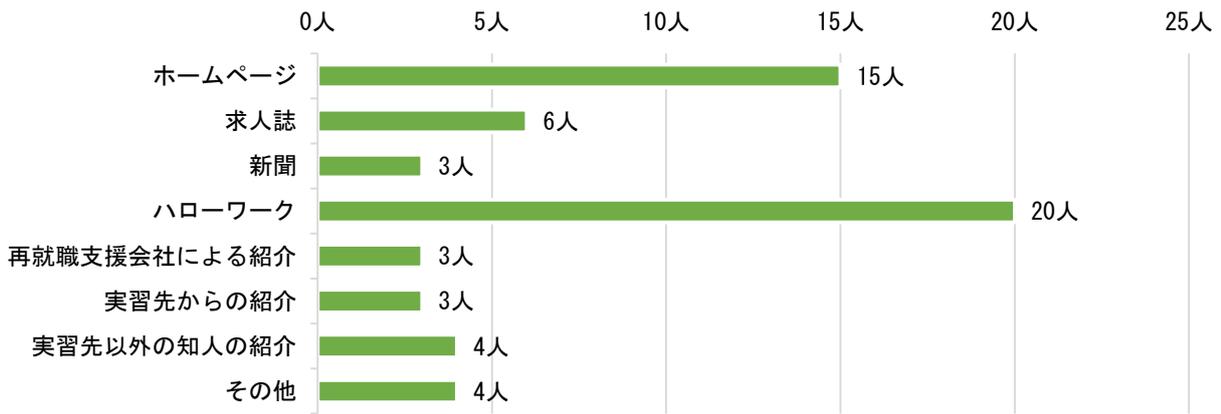
- ・あまり活かせないと思う。短大卒→大卒になっただけ。
- ・今のままでは雑学の領域を出ない状態なので、今後どう活かせるのかは全くわからない。

3 卒業後の進路についてお聞きします。

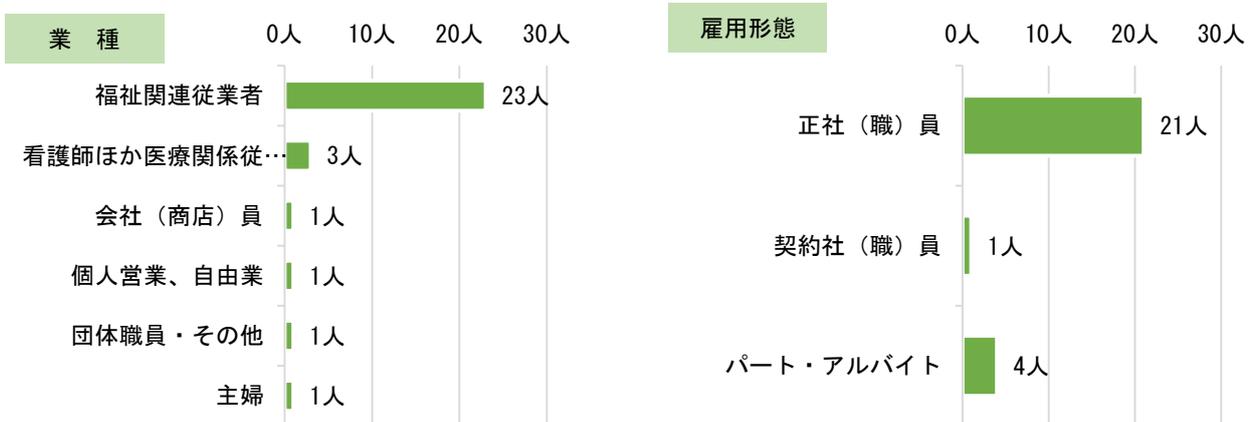
1) 在学中・卒業後「卒業・資格・学んだこと」を活かし転職・就職・進学します(ました)か。(1つまたは2つ以内で○をつけてください)



2) 転職・就職活動を行った（または行う予定）方にお聞きします。転職・就職先の情報はどのような方法で得ましたか（得る予定ですか）（あてはまるものすべてに○をつけてください）



3) 転職・就職・職場内異動を行った（または行う予定）方にお聞きします。転職・就職先・移動（予定も含む）後のご職業をお答えください。

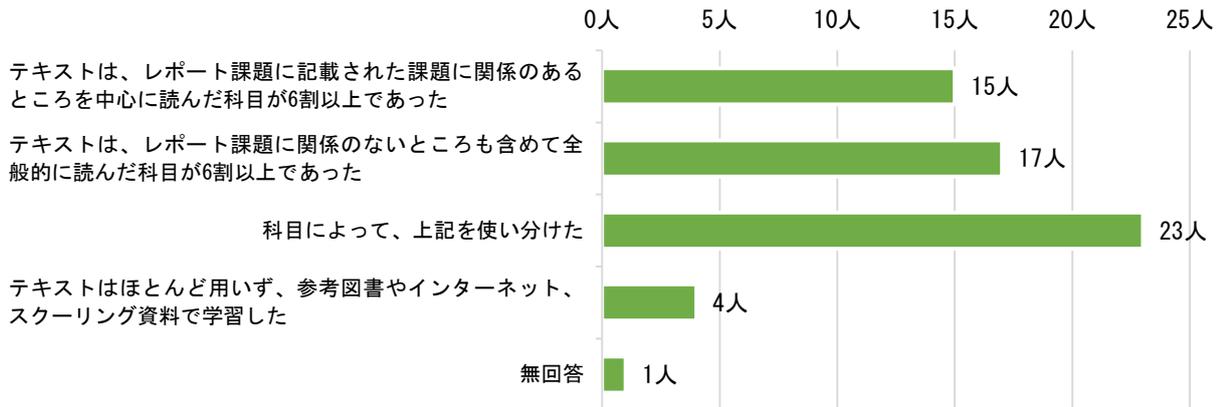


4) 就職・転職・職場内異動にあたってお知らせいただけることがあれば、ご教示ください。

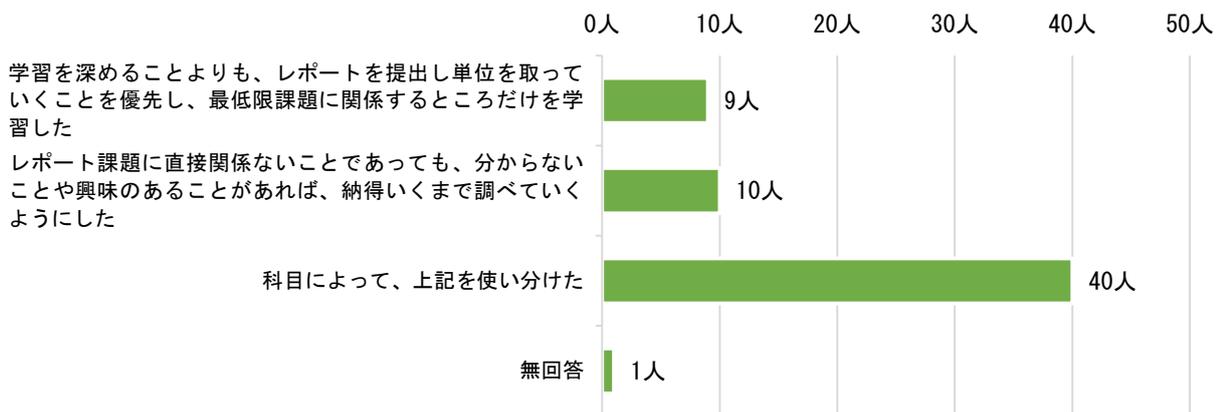
- ・転職後は従業員のモチベーションを大切にしてくれる会社で、大学で学んだことを実践できるような状況の中、仕事をするようになった。
- ・11月より生活相談兼ケアマネージャーの内示を受けた

4 学習全般についてお聞きます。

1) あなたはテキストをどのように活用されましたか。(あてはまるもの1つに○をつけてください)

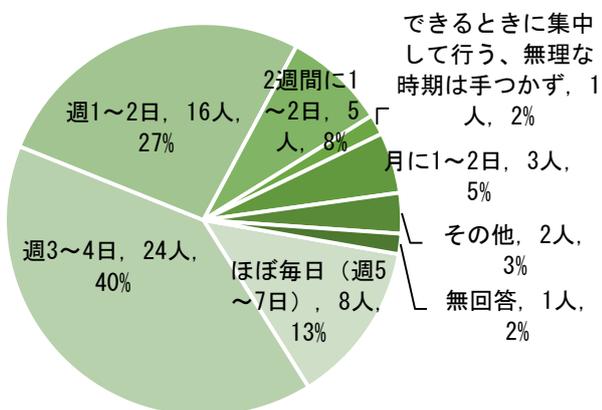


2) あなたは学習に対してどのように取り組まれましたか。(あてはまるもの1つに○をつけてください)

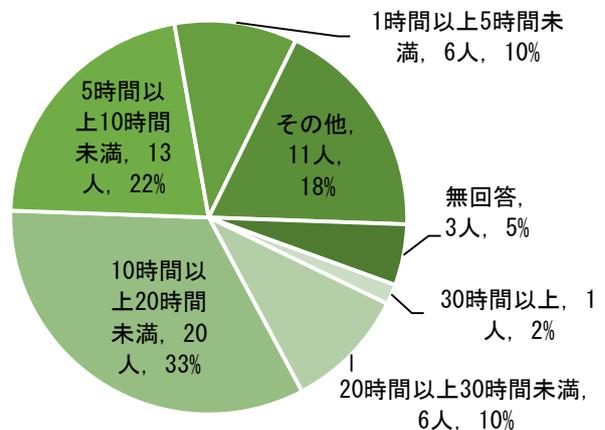


3) 普段どの程度学習しましたか。

学習の頻度

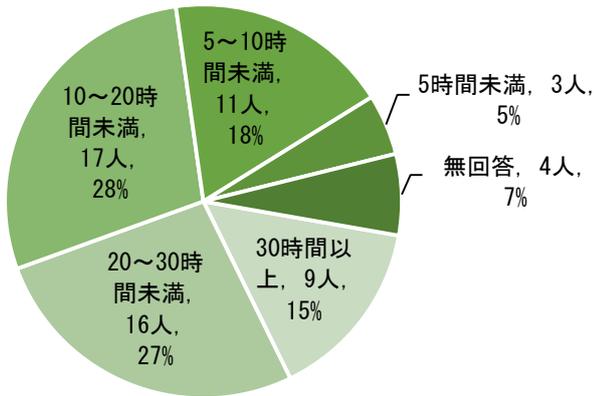


1週間(7日間)の平均・合計学習時間

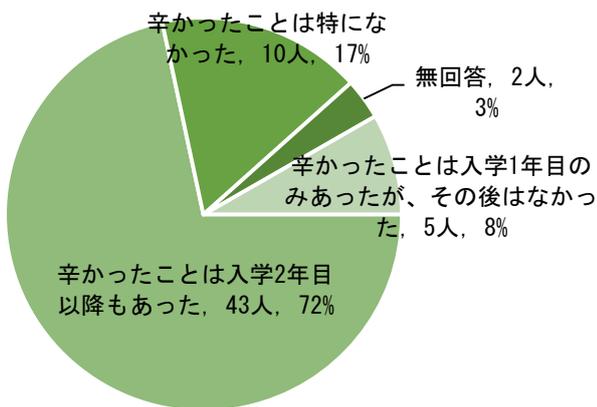


(おおむね、教科書を読む時間、参考文献を探す時間、レポート学習・オンデマンドスクリーニング、国家試験対策を含む。ただし、会場スクリーニングの受講時間は除く)

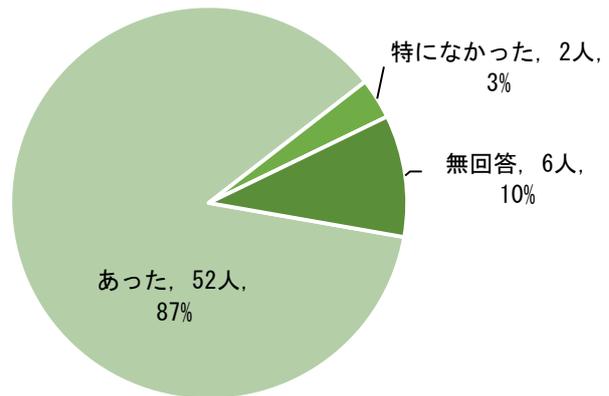
4) 1 単位分 (1 課題) のレポート (論述式のもの) 作成に要した平均延べ時間はどれくらいですか。
(おおよそ)



5) 学習をしていて辛かったことはありましたか。



6) 学習をしていて楽しかった (面白かった) ことはありましたか。

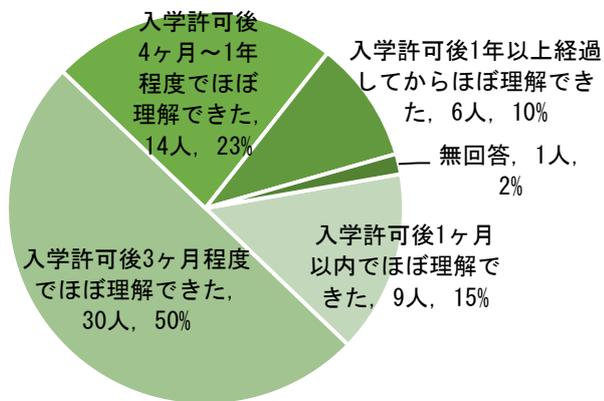


7) 辛いと感じたときの克服方法や対処方法。

- ・空いている時間を見つけて隙間学習をした。
- ・TODO リストを作り、目標達成 (小さい目標から) ごとに線を引き、達成感をもった。目の前に合格のお守りを置き、辛い時に見た。諦めるとお金がかかると自分にプレッシャーをかけた。
- ・学友からのアドバイスを参考に、次の課題に取り組んだり、本を紹介していただいた。スクーリングで学友と話をすることで皆同じ悩みであることがわかり気が楽になった。
- ・課題集のアドバイスを何度も読み返した上で、テキストや資料などを読みました。with の体験談他、とにかく出してみてという内容が書かれた文章を読むことで気持ちを切り替えました
- ・教科書以外の本も読んでみて、字数がクリアできたらとりあえず提出してみた。
- ・レポートに関してはスクーリングに行き、先生の考え方を聞くことで自分の考えをまとめていくことができた。そして実践の中で感じたことを合わせて考察した。

5 入学された際の不安（単位修得方法や基本的なルール、レポートの書き方など）についてお聞きします。

1) レポート・科目修了試験・スクーリングなど科目の単位修得方法の基本的なルールは入学後どの程度でほぼ理解できましたか。

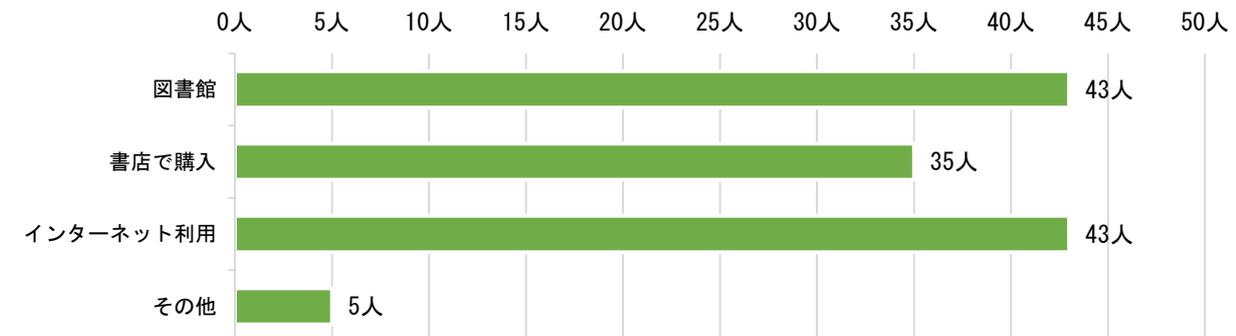


2) 不安点や不安について、どのように解消しようとしてきましたか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

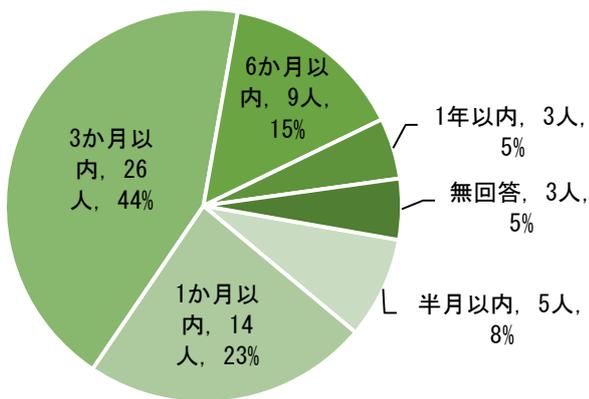


6 レポート学習についてお聞きします。

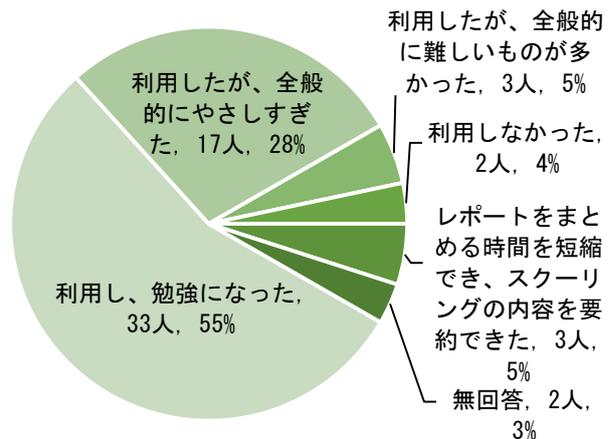
1) テキスト以外に参考文献（資料）を利用した方は入手方法をお教えてください。（あてはまるものすべてに○をつけてください）



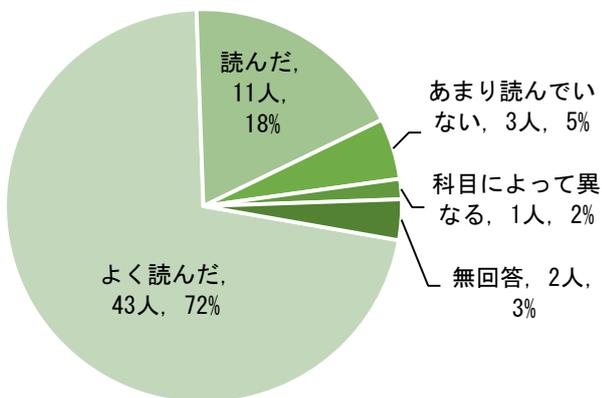
2) 初めてレポートを提出したのは、入学後どれくらいの時期ですか。



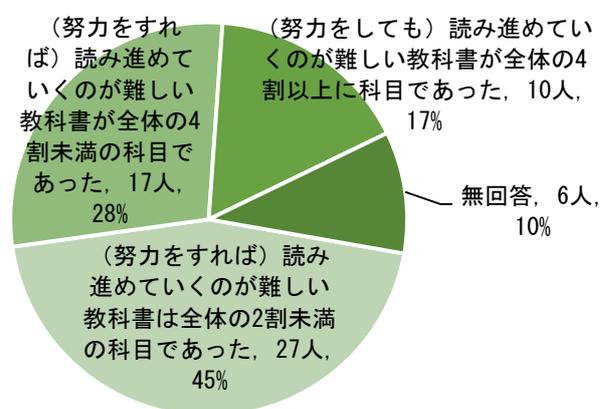
3) スクーリング受講者専用別レポート(〇×式、穴埋め式など)について



4) 『レポート課題集』のアドバイスは読みましたか。



5) 科目の教科書の難易度について、どう感じましたか。



6) 『レポート課題集』のアドバイスの活用方法。

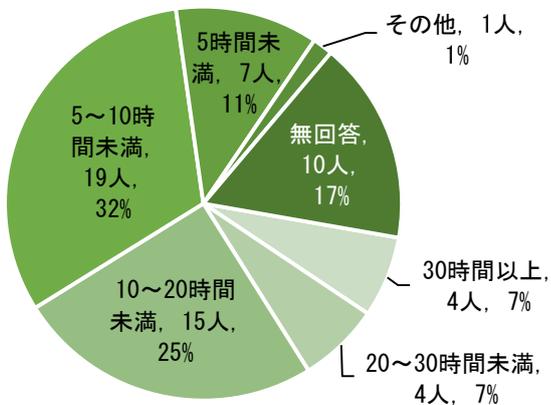
- ・レポートの趣旨を理解するため、書く前、書いている途中でも何度も読み返した。
- ・先生の求めていることを理解し、レポートに必要な内容を考慮できた。
- ・課題だけでは何を言っているのか分からないことも多く、アドバイスを読むことで何について勉強し、考えを深めたらよいかの道筋が見えた。
- ・何をポイントに(狙い)書いたらいいのか知るため。

7) レポートを書くのにどのような点で苦労したか。

- ・範囲が広すぎてどこからどこに着目すればよいのか分からず放置してしまった。資料選びから難しかった。
- ・どの科目ということはないが、レポートの書き出しをどのようにするかをよく悩んだ。作成している途中で自分の考えていた理論が変化してしまった際、1 から作り直すか、なんとか整合性を整えるかも迷った。
- ・自分の経験や考えを問われるレポートは難しかったです。教科書に答えが書いてないからです。
- ・レポート課題集のアドバイスに添って書いたつもりが、まだまだ先生の意図とは違っていたようで、どう書くべきかかなり悩みました。

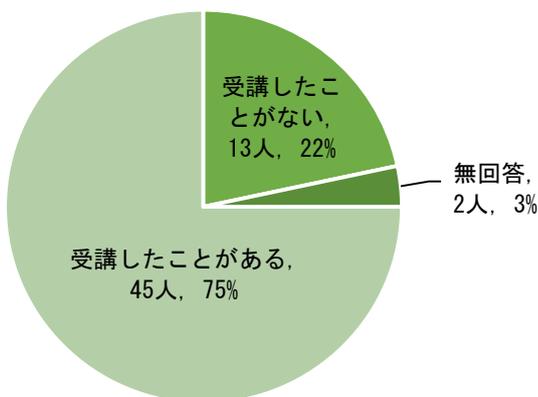
7 科目終了試験についてお聞きします。

1 科目の科目修了試験準備に要した平均延べ時間はどれくらいですか。(おおよそ)

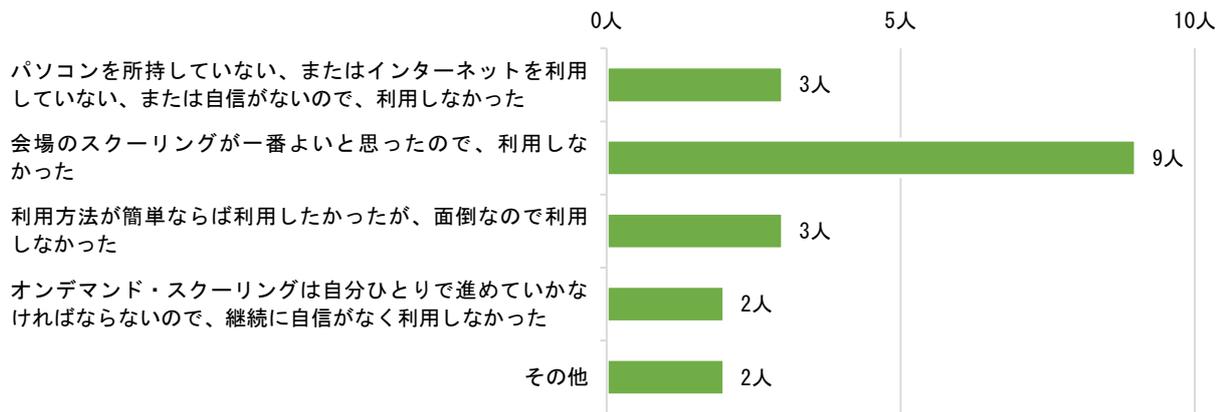


8 オンデマンド・スクーリングについてお聞きします。

1) オンデマンド・スクーリングは受講したことがありますか。

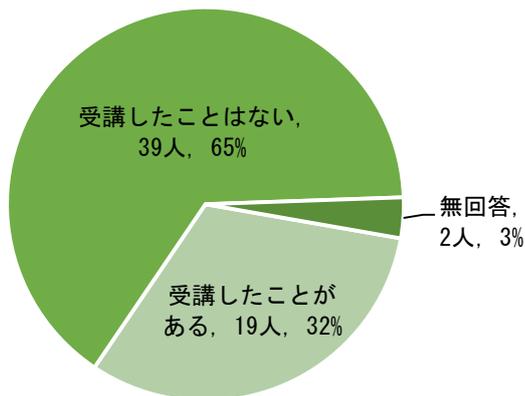


2) オンデマンド・スクーリングを受講しなかった方は、その理由をお知らせください。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

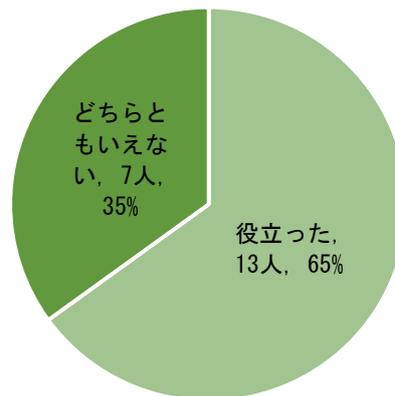


9 各種ガイダンスや国家試験受験対策講義についてお聞きします。

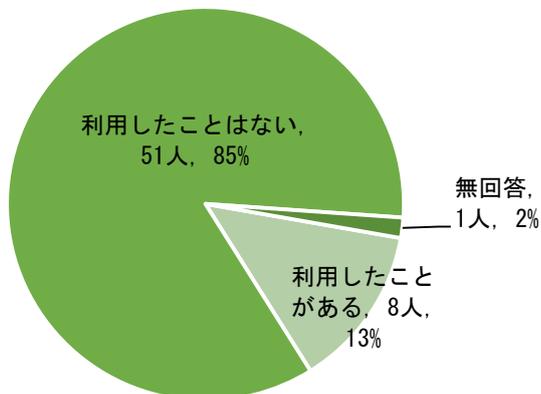
1) web上の学習ガイダンスまたはレポートアドバイスについて視聴したことがありますか。



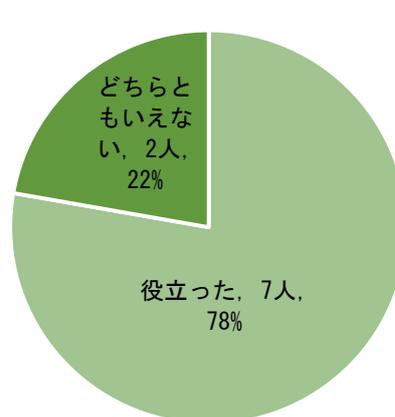
2) web上のアドバイス・ガイダンスを視聴した方は感想をお知らせください。



3) スクーリングやガイダンス・科目修了試験時に通信教育部・卒業生と話す機会を設けている会場がありますが、相談(雑談を含む)したことがありますか。

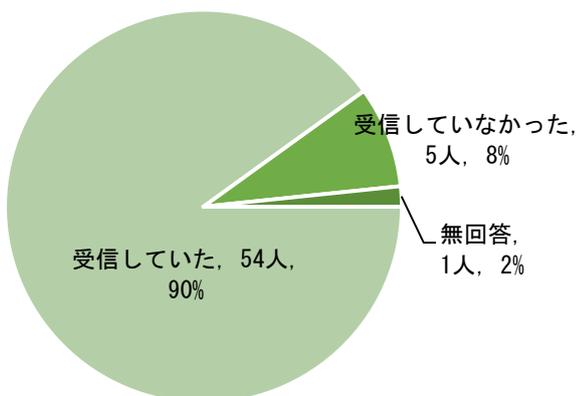


4) 卒業生と話す機会を利用した方は感想をお知らせください。



10 通信教育部からの情報提供についてお伺いします。

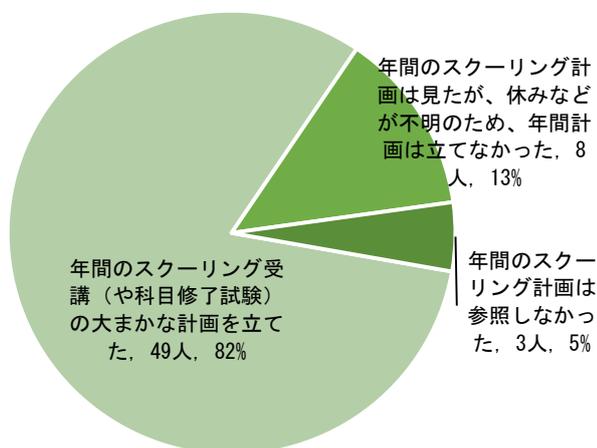
通信教育部からの一括送信メールを受信していましたか。



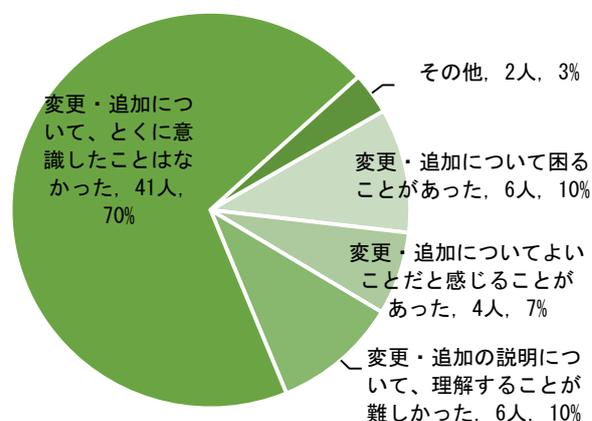
2) 一括送信メールを受信していた方は、感想をお知らせください。(あてはまるものすべてに○をつけてください)



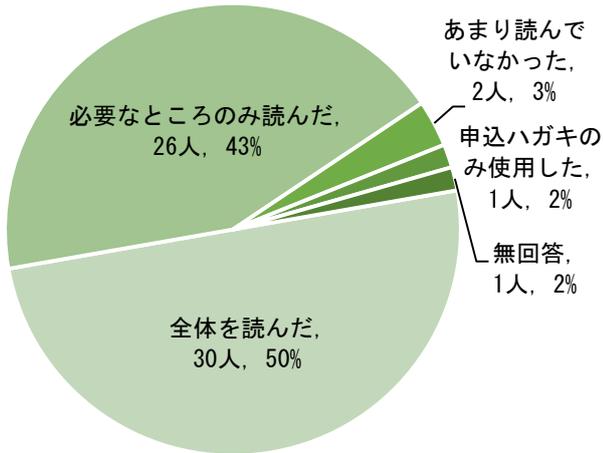
3) 『試験・スクーリング情報ブック』でスクーリングの年間計画を公表していますが、どの程度活用されましたか。



4) 入学途中で学習のルールが一部変わったり、履修可能でスクーリングが受講できる科目が追加になったりすることについて、どう思いましたか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

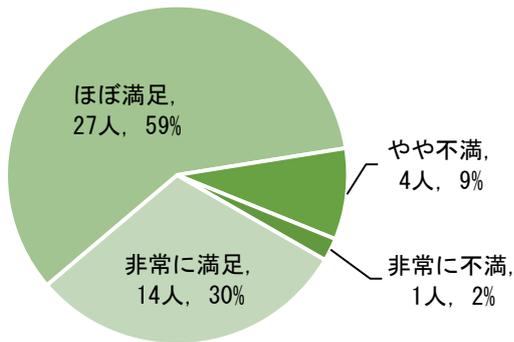


5) 機関誌『With』（年8回発行）はどの程度読まれましたか。

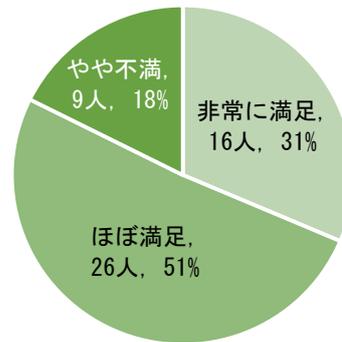


11 通信教育事務部の職員の対応についてお聞きします。

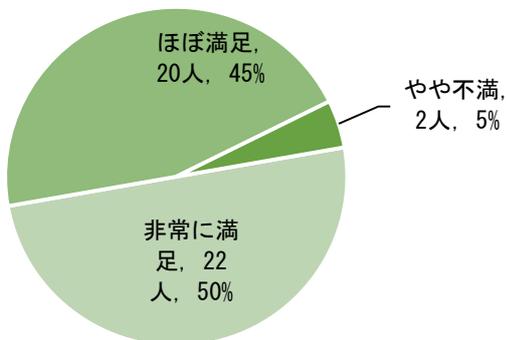
1) 窓口にてご質問されたことがある方にお聞きします。職員の説明はいかがでしたか。



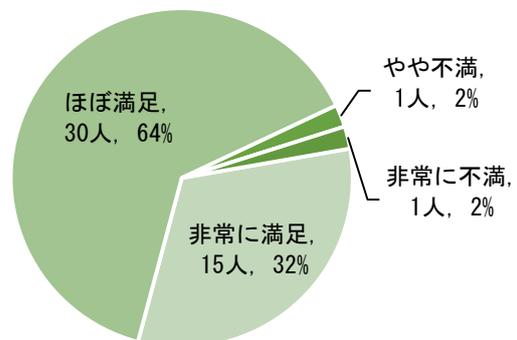
2) 電話にてご質問されたことがある方にお聞きします。職員の説明はいかがでしたか。



3) メールにてご質問されたことがある方にお聞きします。職員の説明はいかがでしたか。

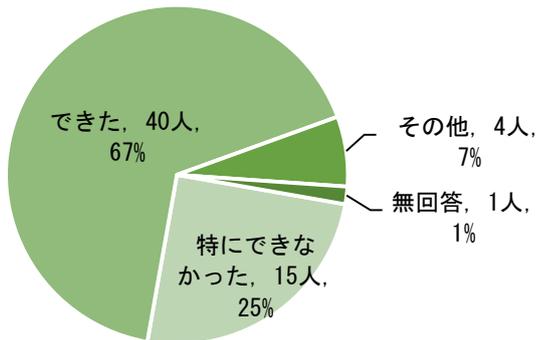


4) 仙台会場以外の会場で、スクーリング・科目終了試験を受講したことがある方にお聞きします。現地スタッフの対応はいかがでしたか。



12 通信教育部内の学習仲間についてお聞きします。

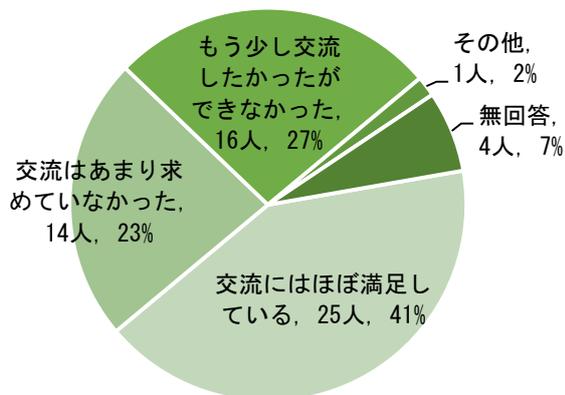
1) 通信教育部で共に学ぶ「学習仲間」はできましたか。



2) 「学習仲間」はどのようなことがきっかけでできましたか（複数回答可）。

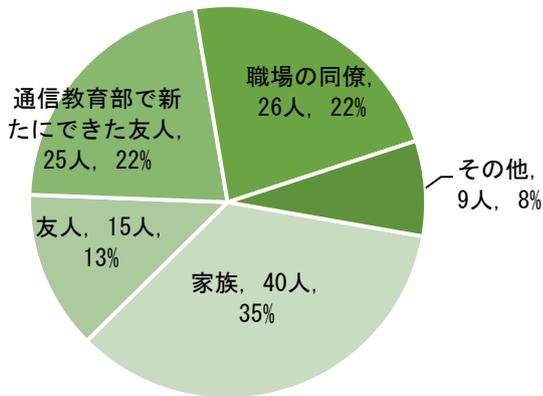


3) 通信教育部で学ぶもの同士の交流について満足できましたか。

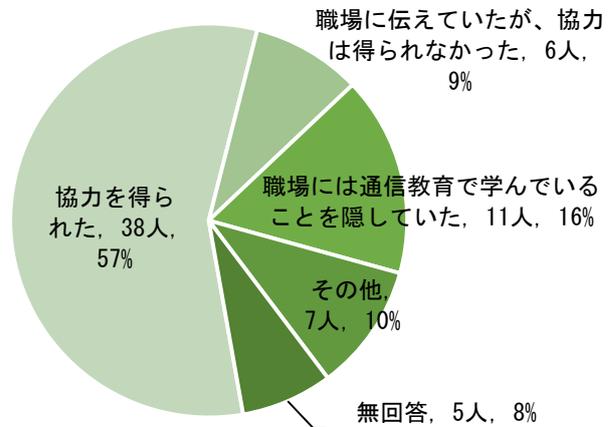


13 学習の協力者についてお聞きします。

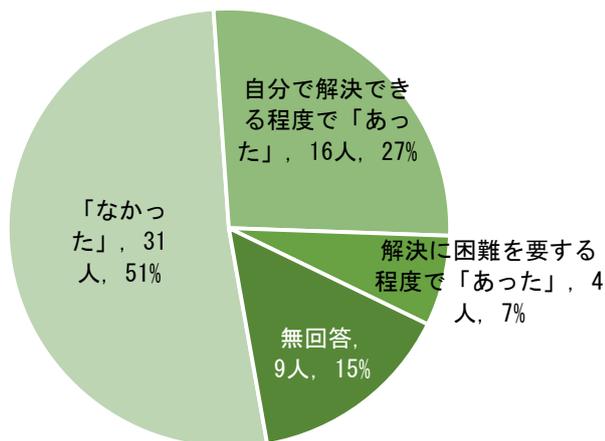
1) 学習を進める上でどのような方から理解・協力を得ましたか(複数回答可)。



2) 在学中働いておられた方にお聞きします。通信教育で学ぶことについて職場の協力は得られましたか。



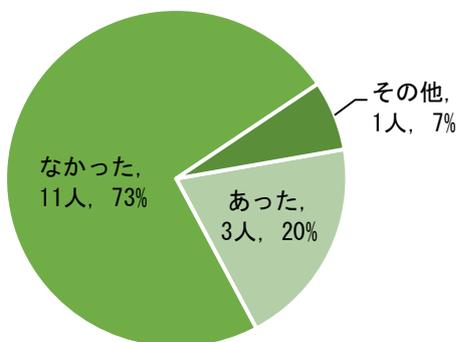
14 (10月生の方へ) 10月生として学習するにあたって、とくに不利だと感じたことはありましたか。



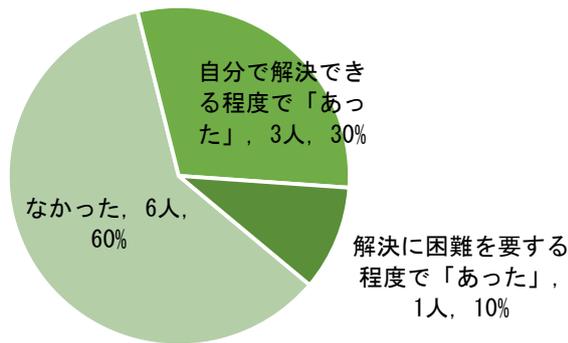
「あった」と回答した方は、具体的内容についてお答えください。



15 「社会福祉援助技術実習」免除者の方にお聞きします。実習免除の方が学習を進めるうえで何かお気づきの問題はありましたか。



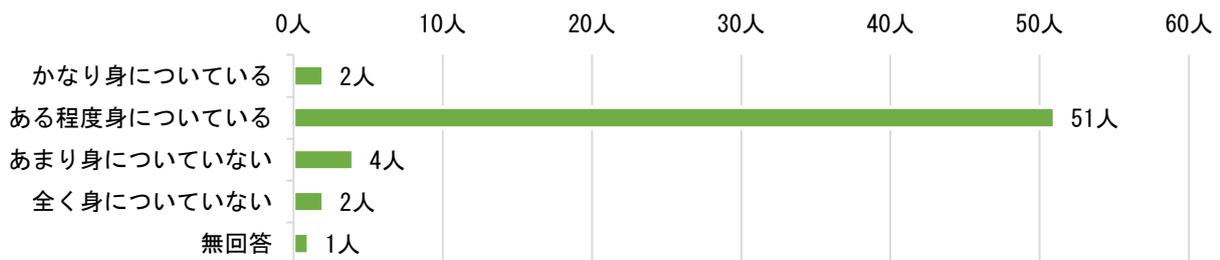
16 (2002-2008年入学・旧カリキュラム受講の方へ)旧カリキュラム受講者として、不明・わかりにくいと感じたことはありましたか。



17 自己評定による「学士力」の達成度として、通信教育部での学びのなかであなた自身が身につけた(または「向上した」を含む)と思うものについてお聞きします(主観的な判断で、一番あてはまるもの1つに○をつけてください)

1) 知識・理解など

①(社会福祉学科・社会教育学科の方)社会福祉・社会教育に関する基礎的な知識が身についた。(福祉心理学科の方)人の思考・感情・行動の原理や法則、理論について説明できる心理学の基礎的な知識が向上した。

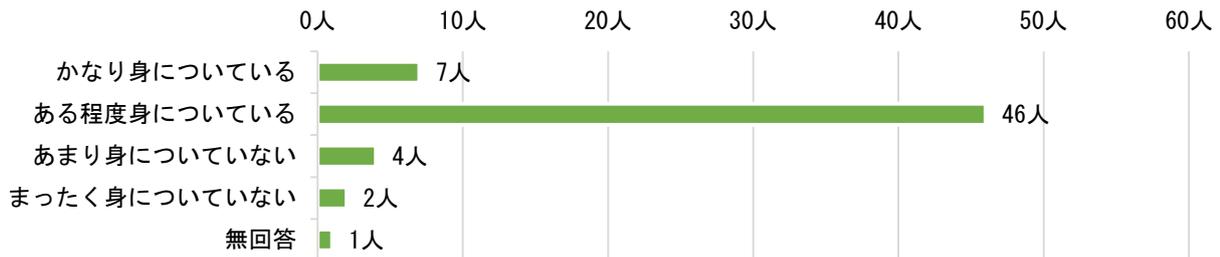


②さまざまな人が抱えている生活上の問題や心理的問題への支援に利用できる実践的な知識が向上した。

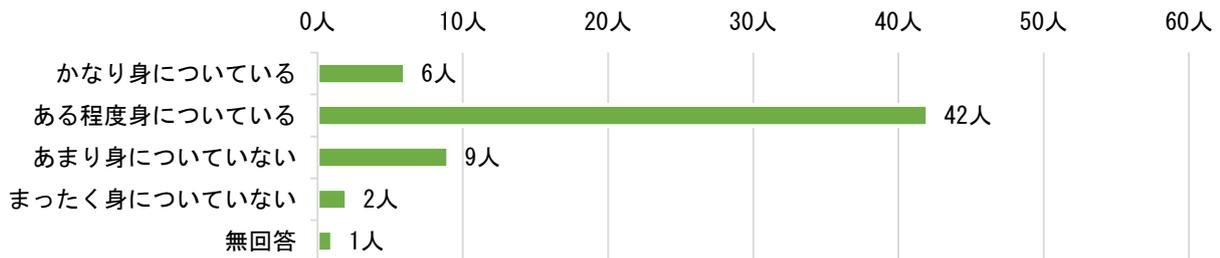


2) 汎用的技能など

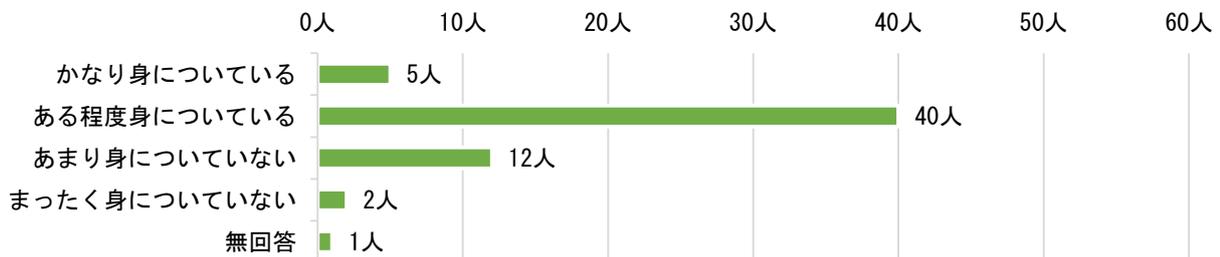
③多様な価値観を理解し、自己とは異なる意見や考え方をもち人々とコミュニケーションをとれる力が身についた。



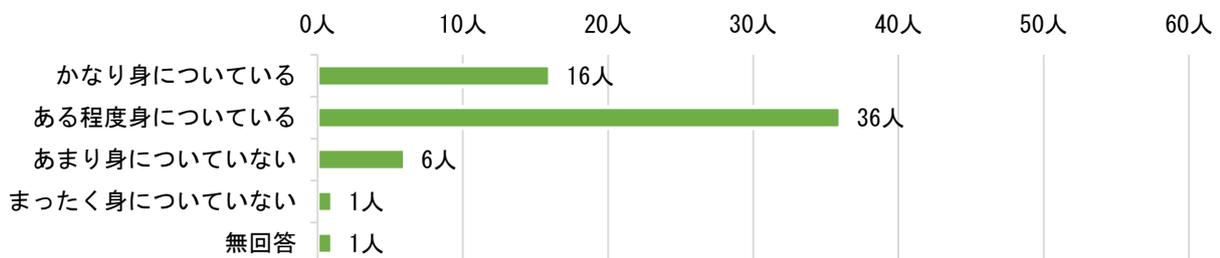
④求められる成果の趣旨を理解し、必要な情報を精査・選択し、わかりやすい文章や言葉で他者へ伝える力が向上した。



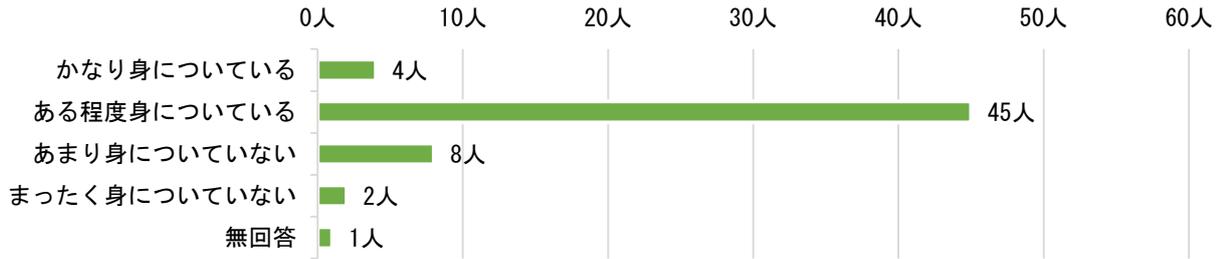
⑤根拠から結論を導き、自分の意見を筋道立てて論理的に表現する力。



⑥参考図書やインターネットを用いて必要な情報を収集する力が向上した。

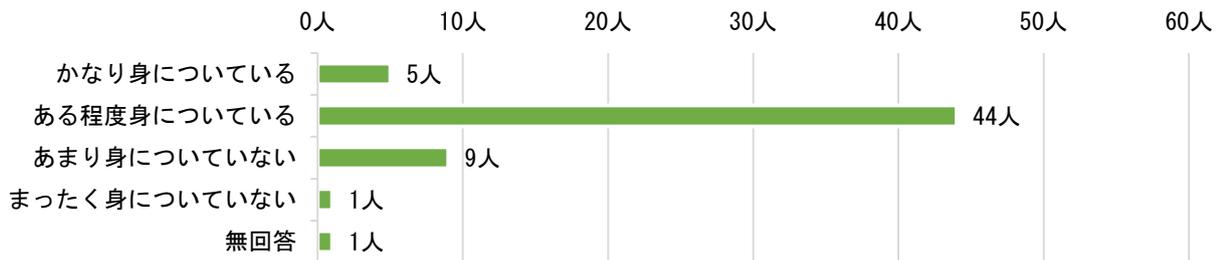


⑦自ら問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、問題を解決・調整できる基礎的な力が向上した。

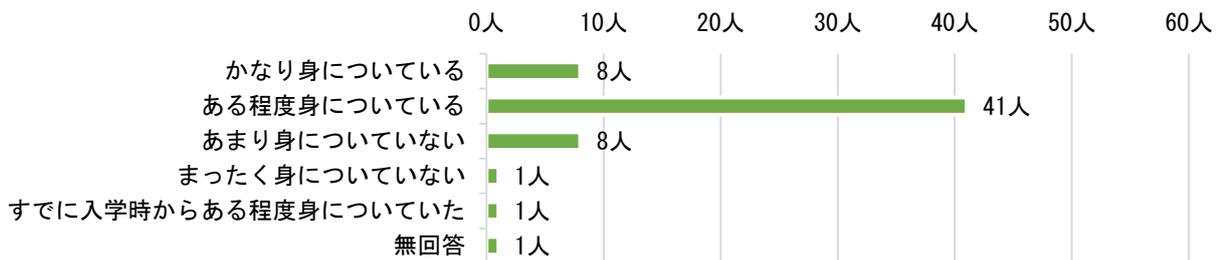


3) 態度・志向性など

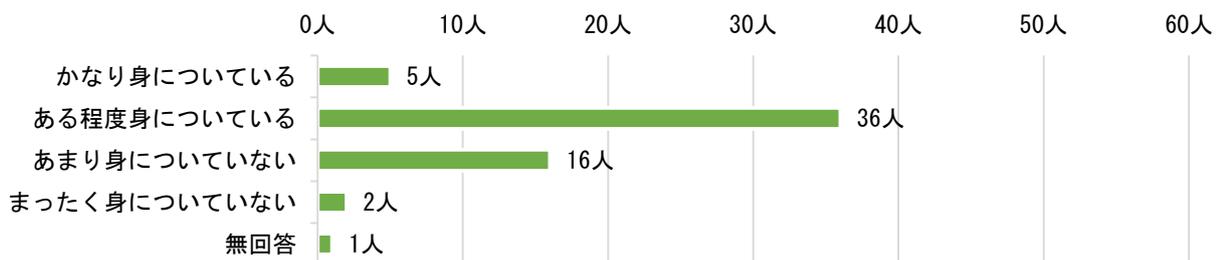
⑧時間の管理、感情や欲求の適切なコントロール、状況に応じた適切な行動など、自らを律する力が身についた。



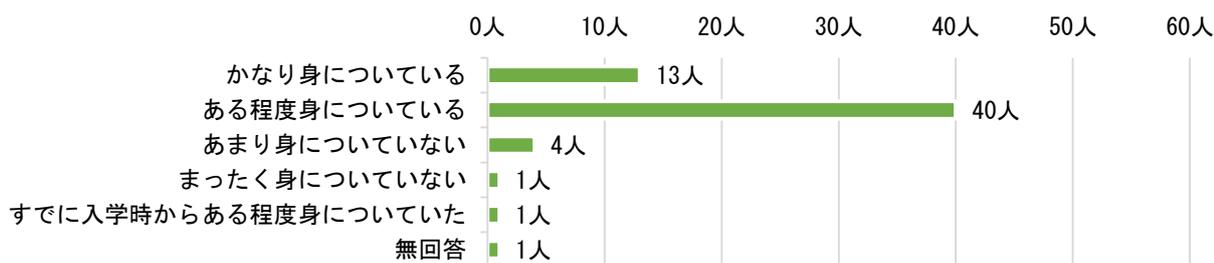
⑨他者に配慮しながら、目標と問題を共有したり、協調・協同して行動できる力。



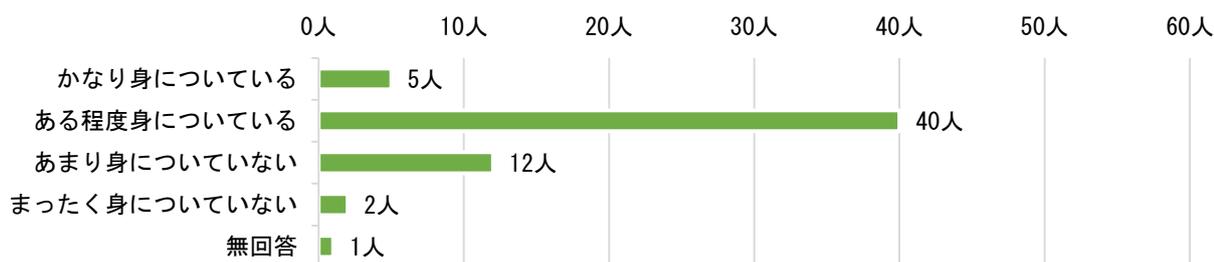
⑩自分に対する自身が身についた。



⑪人間の尊厳や基本的人権を尊重し、人びとの幸せや地域・社会の発展のために積極的に関与しようとする姿勢が身についた。



⑫卒業した学科での学びを統合的に活用し、自ら課題を設定し、理論と実践を融合しながら解決策を導き出す力が身についた。



18 通信教育部での学習を振り返り、スクーリング・レポート学習で印象に残ったこと、卒業時までよく記憶していることなど自由にお書きください。

・社会福祉に関してとても幅広い分野について学習することに驚いた。児童・家庭福祉論は最初の現地スクーリングであった。社会のひずみの影響は未来ある子どもたちに一番響いて行くということ。社会を作っていく大人の責任を強く感じた。社会福祉原論の田中先生の講義が一番印象に残っている。福祉の歴史の背景はあるものの、その変遷を学ぶことが現在の福祉の学びに非常に役立つ。また、先生の深いものの見方に感銘を受けた。一生忘れない。

・人間は死ぬまで発達する生き物であるという木村進先生の発達心理学の言葉に驚きました。それ以来、私は年をとっても諦めないという自分なりの心の芯ができあがった気がします。

・何のために資格をとるのか、誰のために行う仕事なのか利用者に不利にならないことが大切。

・社会福祉原論です。講義も分かりやすく、原論という堅そうな思いはなく、終始楽しく受けることができました。大学で勉強するということなのかなと感じたのを田中先生の講義を受けて良かったという思いでした。もう少し田中先生の講義を受けたかったです。

・各講師の先生方の講義は非常に興味深く、個性があり、それまでの自分の概念を崩して広げるものでありました。受講したすべての科目でスクーリング（オンデ含む）を受けました。

・印象・記憶していることは社会福祉援助技術総論のオンデマンドでの在宅訪問でのすごかった状況ベスト3、社会福祉援助技術論Bの「こころのふるさと」、社会福祉原論・就労支援サービス論の「この子らに世の光を」など。色々なキーワードとして残っています。すべてが自分の糧になっており、学習した確かな手ごたえとしてあります。

・覚えることだけでなく、日々の実践の中で学びを生かしていきたいと考えていた私には東北福祉大での学びが合っていたように思います。ある先生の「あなたの中に福祉に対する哲学を築いていってください」というような内容の言葉が印象的でした。

・やはり演習 ABC、技術論 AB、原論は心に残っています。学習の内容もですが、先生方一人ひとりの考え方や先生方の経歴も本当に様々なところで考えさせられました。川口先生のスクーリングで「自分は幸せでいいのだろうか」という言葉には今もいろいろなことを考えさせられます。

・福祉法学です。成年後見制度についてテキストはもちろん、資料も自分で集めてレポートを作成しました。このレポートはスクーリングを受講する前に取り組んでいました。だから、スクーリングでの学習内容（成年後見制度）がよく理解できました。この経験から「予習は大切」だと思いました。

・川口正義先生の社会福祉援助技術論 A・B のスクーリングで言われた支援する人は困窮者の気持ちを理解するためにも自分の生活を困窮に近い位置におきなさい。

・心理学概論は分かりやすくより入口となったと思う。

・社会心理学で学んだ、対人認知のメカニズムや認知的複雑性という概念を知ることができ、人をより多面的に理解できるようになったと感じており、非常に印象に残っている。

・認知心理学での関連付けて覚える、学んでいくということが印象に残っています。西林先生の生のスクーリングでもっとじっくり学びたかった。これからの国家試験対策に役立てていこうと思います。

・田中先生の社会福祉原論のスクーリングの授業の時間が終わっても拍手が終わらなかった。誰も席から立とうとしなかった。概念とは鳥の目のようになって見たのが概念である。

・福祉の幅広い分野を学べたことは、高齢者福祉のみならず、世界観を持たたと感じている。特に障害者福祉においては、障害者の線引きについて考えさせられることが印象に残っている。個々の人間として、そして人と人との関わりについて、深い意味で人間観を追求できるきっかけを得た思いである。

・演習 A で「学習を終えると世界が変わる」と先生が言っていた

・人格心理学のレポートは今まで生きてきた中で消化しきれなかった。いろいろな思いを消化することができたので、皆川先生に本当に感謝しています。

・福祉社会学の授業は興味深くわかりやすい授業でした。福祉社会学という分野に関心が持てました。少人数でのスクーリングは仲間意識を持ちやすく、学習の励みになりました。

・自分との戦いの連続でしたが、学びの楽しさを実感していました。スクーリングを通して先生方からの現場の様子を伺い、たくさん様々な環境の中で同じものを学ぶ同志のすばらしさ・ありがたさを感じることができました

・川口先生のスクーリングで学生も参加し、みんなで考えるスタイルがとても印象に残っています。このスクーリングがあったおかげでたくさん友人ができました。人生について大きく変わるスクーリングだったと思います。赤塚先生のスクーリングで文献について触れられていましたが、最高の文献は日常生活にあるという内容に同感しました。本を読むだけでなく、今生きている中でのことが大切なのだ日々思っていたので、救われました。

・オンデマンドで学習することが多かったため、他の学生との交流は演習を受講する時くらいであったが、よい刺激を受けた。札幌でのスクーリングは齋藤征人先生からの教えを乞うことが多くあり、更に巡回指導も受けることができたため、安心感があつた。学習・実習の全てを振り返ると「地域ですべての人が安心して生活できる環境を作り出すお手伝いをする」のが社会福祉士の仕事なのだ理解できた。

・人が何かをしようとする時の動機付けは内的なもの、外的なものいろいろあり、達成感が得られ

なければ無力感を学習してしまう。しかし、こういった事柄を理解した関わりをしなければならぬこと、そして人間関係には個人の自我状態や認知の仕方などが関係することから、己の気づきが必要となることなどが印象に残っています。

- ・心理学を学び始めるにあたり、自分の性格を理解できるようになるのでは、と期待していたが、実際学習を始めるとまったく想像していたものとは違い、心の学問であるということが分かった。

- また、カウンセリングの授業を受けて、自分は絶対カウンセラーにはなれないな…と強く感じた。

- ・人の行動には意識している部分と意識していない部分がある。行動の多くは無意識に行われるものであり、その人の感情などを含む。無意識な部分は嫌なことを意識化しないようにしているが、そのことが突然違う形として表れてくることがある。自分では意識していないことが日常では多く見られている。人を見るときに自分の枠の中で見ている。そのため、ゆがんだ見方をしてしまうため、自分の都合でいい人・好きになれない人と決めつけてしまっている。

- ・個人的には渡部純夫先生の心理アセスメントの講義がわかりやすく勉強になりました。先生の実務歴と知識の豊富さと同時に人柄が伝わり、レポート課題や指定教科書も的を得たものであったと思います。認知心理学においては教育心理学と重なる部分がありましたが、自分が学習する上でもう少し早めに取り掛かれればメリットがあったかと思われる良い教科書でした（「わかったつもり」他）

- ・高齢者介護の分野で仕事をしているので、自分の分野のレポートは問題なく行えた。社会保障や児童・家庭福祉の分野では自分自身の身の回りのことでもあり、実生活の中で関わっていることもあったので勉強ということ以上にこれからの生活の中で役立つ知識になった。特に児童虐待は育児をしているので、率直に悲しいという感情が出てきて、資料や文献を探ることが苦痛でもあり、自分の中でなんとも言えないレポート作成であった。

- ・入学して間もないころに受講した「社会福祉原論」の田中先生の講義で「人を理解する（understand）こととは、人の下に立つということ」というお話を伺い、福祉専門職とはどうあるべきかということを考える原点となりました。日常生活においても相手の立場で考える際に「分かったつもり」になってはいけないという価値観の変化にもつながりました。

- ・家族心理学で全レポートが再提出になったこと。精神医学の科目修了試験に2回落ち、3回目ようやく合格したこと。2科目とも非常に苦勞しましたが、その分より深く学べたのではないかと自負しています。

- ・演習科目は本当によい経験となりました。同じ志を持つ様々なバックグラウンドを持つ人々と出会い、大変貴重で大きな刺激となり、モチベーションになりました。

- ・地域福祉論の授業の中で「地域福祉が成り立っていかなければ福祉はなりたっていないのです。あなた方はボランティアだと言って遠くへ足を運びますが、となりの人に声がかかれずに何がボランティアですか」とおっしゃられました。卒業後は海外へボランティアに行こうと考えていた矢先、先生のこの言葉は深く胸にささりました。「日本にも恵まれない子供はたくさんいる。日本で身近なところから取り組んでいこう」と考え直し、今に至っています。地域福祉の大切さを現場サイドから日々深く実感しています。

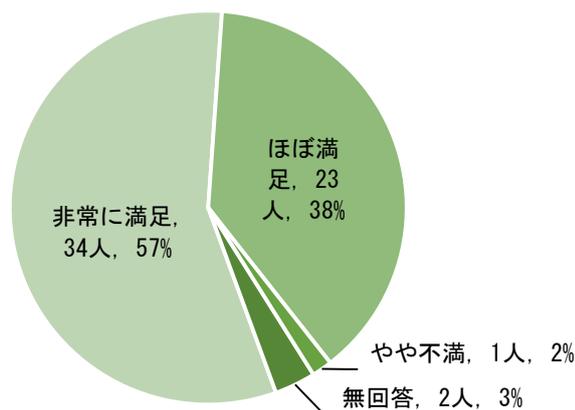
- ・特別支援学校で学校介護職員として働いていて、ボランティアでハンドサッカーのお手伝いをさせていただいたとき、ボランティア論の科目の課題としてまとめさせていただきました。自分の行動を見直すよいきっかけになりました。

- ・社会福祉援助技術論 AB の川口先生のオンデマンドスクーリングの情熱あふれる話に心打たれま

した。絶対にきちんと学習して社会福祉士になろうと思った。

・スクーリングでは実際に通信教育部で学ぶ様々な年齢・性別・職種の方々と話すことができ、良い経験となった。そこで話した時や普段の人間関係の中でも思うことは「人それぞれ見方（視点）も思考も千差万別である」ということである。心理学の基礎を学び、これまで「何故こういう人がいるのか」「何故こう考えるのか」と人間関係の中で思うことが多かったが、多角的に物事を捉え、視野を広くもつ心のゆとりができたと思う。今後もより人間関係を大切にしながら自己の成長を目指し学び続けていきたい。

19 あなたは東北福祉大学通信教育部で学んで満足できましたか。



～ 満足できた具体的な内容 ～

・先生方の授業には魂がこもっていました。これまで先生が感じてきたことや実体験からの方向性、制度や取組みについての感想、今後あるべき姿、等、本やTVでは知ることのできない生の声がひしひしと胸に迫ってきます。どの先生方も人間性豊かでとても魅力的に感じました。素晴らしい教師陣に恵まれたこと、本当に福祉大に入ってよかったと思っています。

・講師の先生方の教授される熱意や懇意がよく伝わってきて、自分も頑張ろうという意欲につながりました。また、事務局の方々にも丁寧に細かいことを教えていただき、特に学習の申込みをした際や辞退した時にも親切に対応していただき、感謝しています。ありがとうございました。

・高校生の頃、なんとなく入りたいと思っていた東北福祉大学へかなり年月を経て自分の意志を強く持ち、働きながら、家庭を持ちながら、子育てをしながら、卒業までできたことは感慨深いです。先生方、職員の方、職場の方、そして家族に感謝したいです。

・人生の中で大きな成長を遂げることができたと確信しております。先生が方からいただいたお言葉を胸にこれから頑張っていきます。

・自分で決めた目標を全てとはいわないまでもある程度達成でき、自信がついた。

・入学当時は介護老人保健施設で働いていました。介護士として働いていた私は、より広く福祉の世界を学びたいと思っていました。入学後様々な視点で福祉の世界を学び、スキルアップ向上のためのよいきっかけとなりました。

・学ぶ楽しさを発見でき、また何歳であっても学ぶ姿勢が大事なんだと感ずることができました。生涯学習の意味が少し理解でき、自分自身、学び続けたいというきっかけにもなりました。

・心理学を学びたいと考えたが、難しくやりきれぬだろうかと不安に思いながら思い切って入学し

た。初めは勝手に分からず大丈夫だろうかと思ったが、スクーリングに参加し、多くの学友と情報交換ができた。レポート課題を取り組み出来上がった時の達成感はとてもうれしく思った。また、学びを進める中で自分自身と向き合ったり、自分の心のくせなど今まで自分がしてこなかったことを真正面から向き合うことができ、とてもよかったと思う。

- ・スクーリング資料とレポート共に自分にとっては宝物にしていきたい。

- ・レポートの書き方や資料探し、テストやスクーリングなど苦勞もありましたが、学習を進めると仕事や生活での疑問の解決やヒントになることがありました。発達心理学、社会心理学、人格心理学など、分野で分かれてはいますが、重なり合う部分があり、自分や家族、仕事の各面に当てはめて考えることができ、実際に学んだことから対応を考えて変えることをしました。そのことで仕事や人間関係を進めることができました。学んだことを忘れていたこともあります。自分なりにテキストやレジュメレポートを読み直して学習したことをきちんと身に付け、いろいろな面に活かせるよう、入学した目的を達成できるよう、頑張りたいと思います。

- ・とても豪華な講師陣でスクーリング内容も楽しく、わかりやすかったので、非常に満足しています。先生方も親身に指導してくれるので、この大学は私にとっては遠いのですが、選んでよかったと実感しています。スクーリングの初日開始時間が東京駅からでも朝早く乗れば間に合うので、やりやすかったです。

- ・自分で時間を決めて学ぶことができること、反面自分で選択し決めることから先延ばしもありましたが、大学のレポートの厳しさや期間の厳守などから結局自分を追い込むことになり、苦しいと思いつつもやり通せた感じがします。大学の方で厳しくしていただいたことが良かったと思っています。スクーリングは各先生の熱のある講義を受けることができ、大学で学ぶことを実感しています。

- ・最初は学習の手引きだけで学習方法を理解することに苦勞したが、オンデマンドを利用するようになって、自分も大学生として勉強しているという自覚が持てるようになった。ほとんどの講義は内容も深く非常におもしろかった。手続き等を間違えたりした時でも丁寧にご連絡いただき、助かりました。

- ・もう少し各地でスクーリングをしてほしかった。仙台までいくとなると様々な都合で断念せざるおえない時がありました。オンデマンドはとても楽しかったです。回を重ねるごとにオンデマンドの楽しさがわかったような気がします。(初めてのオンデマンドはとても苦痛だったような記憶があります) もっといろいろな先生と直接話しをする機会があればいいと思います。

- ・就職してから通信を行うまで、一人で行っていた学習が資格をとるためだけでなく、他の話を聞きながら深めていくことができた。また、他県で行う際に温泉で他者(地域住民)の会話を聞き耳を立てて地域情報を学んだりして良かった。

- ・スクーリングへの参加を1年間継続できたが、休みをとりずらく、オンデマンドを活用することで時間を有効活用することができた。学習相談会に出向いたり、メールで質問し不安を一つずつ解決できた。

- ・実習期間を確保することができず、国家試験取得という目標までは至りませんでした。スクーリングを受講するたびに実践経験豊富な先生方の熱い思いを聴かせていただき、社会的不利な立場にある方々を支援したいという思いを新たにしてくれました。日々報道される社会問題に対しても短絡的な見方ではなく、当事者の生活背景に視点を置いて考えることができるようになり、入学以前より広い視野を持てるようになりました。毎回、長時間にわたり講義して下さった先生、対応

してくださった職員の方々に感謝しております。本当にありがとうございました。

・自分自身でスケジュールを立てて、学習し、卒業できたことで自信がついた。たくさんのレポートを書き、科目修了試験を受け、1科目ずつ単位を取る地道な学習は辛いことも多かったが、評価が高い時の嬉しさは何物にも代えがたいものがあった。

・係の方の対応で不満があった以外は大変満足しています。時折先生によってレポートの採点基準が甘かったり、厳しかったりと「読んでくださっているのか？逆にそこまで要求されるのか？」と差異があったようですが、教員も多忙さや時期で仕方がないのかと思われました。

・10代、20代の時には感じる事のなかった学ぶ楽しさ、考えることの楽しさに気付けた時間でした。いくつもの役割をこなしながら学生生活は決して楽なものではありませんでしたが、実践を積んだ今だからこそ、理解できたこと、興味を持つことができたように思います。スクーリングでの先生方のお話からすべてつながっているということも実感できたのも、大きな苦手意識を持たずに学びを進めてこれた理由の一つだと思っています。ありがとうございました。またぜひ仙台へ行ってみたいです。

・知識を広めることではなく、深めることの大切さを学べた。とても辛い時期があり、生きるということについて大学での学びにより支えられることがあった。若い方たちとの出会いからもエネルギーをいただいた。

・深い内容で福祉分野を学ぶことができた。また、若い人から高齢の方まで通学では得られないと思われる。幅広い年齢層での交流を持つことができたという点は、通信教育ならではの思う。

・初めて相談をするときにはとても抵抗がありましたが、佐藤先生や菅野さんに親身に対応していただき、とてもありがたく思いました。その時できることを積み重ねていたら、いつの間にか卒業の日を迎えられるようになりました。

・今の仕事をしながら学べるか不安で入学まで数年迷ったが、どうしても心理学を学びたくて入学を決意した。初めてのレポートは2カ月近くかかったが、その後自ら計画を練り直し、目標を一つ一つ達成することで、知識を得る他に自信を得ることもつながったので良かった。普段関われないような様々な人と話げできたのも良かったし、カウンセラーの先生から実際に学べたことも楽しかった。今後も学んでいきたい。

・社会福祉を学んで視野が広がり、我が国の福祉の現状を理解することをきっかけに政治・経済・歴史などについても興味を持つことができた。福祉・心理学を学ぶことで自分の周囲の人たちがより良く生きていくための知識を取得したような気がする。生ある全てのものに対して慈しむ心が養えた。

・最初は他の通信教育のようにテキストがあつて、穴埋め問題に解答する形でレポートを提出すればよいものだと思って気軽に入学したら、2000字ものレポートを自分で文献を読みながら書かなくては行けないと分かり、卒業できるか不安だったが、なんとか卒業できてよかった

20 ご感想・ご意見・ご要望・改善のご提案・メッセージなど

・オンデマンドによる学習は都度充実していく中で、大変良かったと感じている。実習を伴う学習だったので、不安もあったが、事務の方々も大変親身にアドバイスくださり、感謝している。充実した学生生活を送ることができた。

・もっと関東地方でのスクーリングを増やしてくれると関東の学生が増えると思います

・入学後、しばらく感じていたことであるが、スクーリングにおいて専門用語や業界用語で話すこ

とで分かりづらいことが多々あった。福祉未経験者でも把握できるような授業だと助かると思いました。

- ・大学で学ぶということは誰も道案内をしてくれるわけではない。自分がその道を選んだら、どう進むのか、自分で道を探しあてていかなければならない。唯一の道案内と言えるのは **with** である。だが、その **with** を熱心に読まないで道に迷ってしまう。貴重な時間、道に迷わず進むには **with** をしっかりと読んだ方がいいと思います。その上で不明なことは大学に確認したほうが良いと思います。

- ・意を決して通信教育を受講し本当によかったと思います。もし時間や金銭的なことに余裕があればぜひ卒論も書いてみたいという思いもありました。2年間で学んだこと、これから国家試験に向けて学習を着実に実践に結び付けていけるよう頑張っていきたいと思っています。

- ・産業カウンセラー受験資格が取れない可能性が強まったのはとても残念だ。

- ・職員の方によって差があることは（どこでもありがちですが）感じていました。分からなくて悩んでご相談させていただいているのに、やや冷たい返答のときはがっかりしたこともありました。